

木の香る環境整備促進事業

1. 趣 旨

近年、環境への負荷が少ない経済社会への移行が求められており、森林や木材の特性を活かしながら、森林の利用と再生を繰り返す大きな循環を形成し、植林や保育等の森林整備と、そこから生産される木材の有効利用を繰り返し行う「森林資源の循環利用」の推進が重要な課題となっている。

また、健全で多面的な機能を発揮する森林を育成するとともに、木材利用を通じて循環型社会の構築に貢献するため、平成12年度から取り組んでいる緊急間伐5カ年対策において、間伐の推進と間伐材利用の促進を総合的に実施してきているところであるが、間伐材の利用についてみると、その利用量は着実に増大しているものの、間伐材の利用率の顕著な上昇までには至っていない状況である。

このため、幅広い国民参加、協力のもとに展開する間伐推進の一環として、間伐材製品の展示・普及、間伐材を利用した環境物品等の情報提供を実施し、広く間伐等森林整備や間伐材利用に対する国民の関心・理解の醸成を図る取組を通じ、間伐の推進と間伐材の利用促進に資する。

2. 事業内容

- ① 間伐・間伐材利用コンクールの実施
- ② 間伐材利用促進に係る展示・普及
- ③ 情報ネットワークを活用した間伐材利用に係る情報提供

3. 事業実施主体

全国森林組合連合会

4. 補 助 率

定額

5. 事業実施期間

平成17年度～平成19年度（3年間）

6. 平成18年度概算決定額

17,595千円 (19,550千円)

(林野庁整備課)